

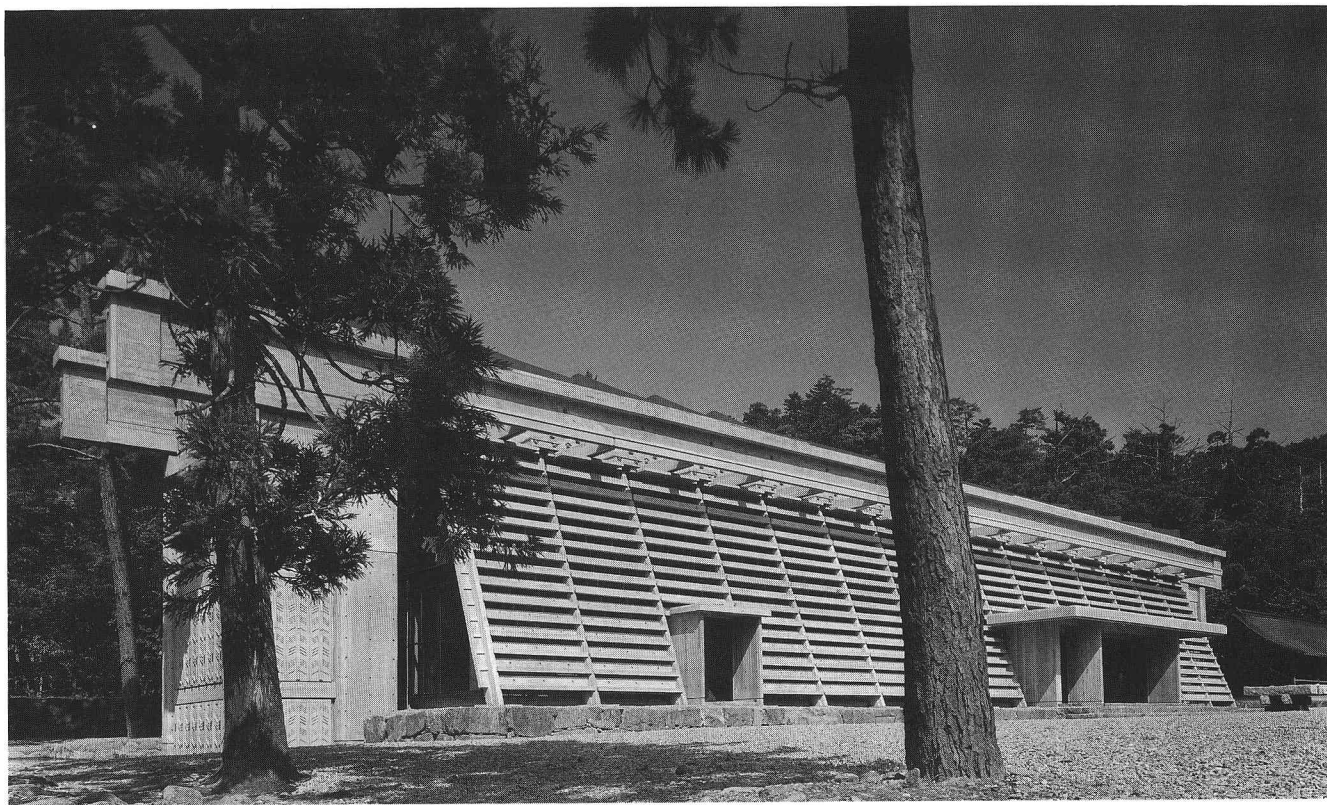
015 出雲大社・庁の舎

島根県 建築設計——菊竹清訓建築設計事務所

鉄筋コンクリート造+PC造，地上2階建，1963年

屋根は，46m（支点間隔37.5m）の2本のプレストレストコンクリート梁が長手方向に架けられている。この梁は，両側のコアで単純支持されている。単純梁であるから中央の曲げが

最大であって，鋼線も最も多く必要であるが，端にいくに従って少なくてよい。不要の鋼線は斜め上方に曲げて梁上部で止めている。



左頁：東側外観
上：1階平面(S=1/400)
下：階段室外壁
撮影：二川幸夫

